

# 伊吹山の景観問題 採掘中止は住民の声



## 米原市民報

日本共産党米原市会議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団  
事務局藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

### 知事の所見をただす

2020年11月県議会の定例会で杉本敏隆議員（日本共産党・長浜市区選出）が行った伊吹山景観問題の一般質問の概要を掲載します。大阪セメント撤退後も採掘され続け伊吹山北側の山容は大きく削られ落ち込んでいます。心配する市民から何とかしてほしいとの声も聴きます。詳細は県議会の議事録を参照ください。QRコードとアドレスを添付しました。

**Q、**（杉本敏隆議員）今、東海道新幹線や、あるいは北陸線の車窓から見える伊吹山の姿はあまりにも痛々しいものであります。滋賀県の風景条例の精神に真つ向から反する石灰岩の採掘による伊吹山の変容について、知事はどのような所見を持っておられるのか、質問します。

**A、**（知事・三日月大造）現在の伊吹山の山容につきましても様々な御意見があることは承知しております。自然環境や景観はしっかりと保全していかなければならないと考えております。一方で、伊吹山の採掘につきましても地域産業を支える鉱物資源の安定供給という役割もあり、どのように折り合いをつけるのかということが大切ではないかと認識しています。

**Q、**（滋賀県のホームページに伊吹山の自然再生協議会の概要、議事録が平成20年から全て載っております。最近の協議会では、採掘が前提でいるような問題が協議をされているというふうな状況になっていると思えます。これまでの石灰岩の採掘量と山容の変化はどのようなものか、お尋ねいたします。

**A、**（部長）伊吹山における採掘実績につきまして、当部が把握しているところでは、昭和27年に採掘が始まり、平成3年のピーク時には年間320万トンに達しておりました。その後は減少に転じ、年間100から110万トンで推移しております。これまでの採掘量の累計は令和元年度末で約1億800万トンとなっております。

**Q、**（部長）伊吹山の採掘中止については、これは声なき声でもあります。山が削られていても、どの住民にとっても生活が困るわけでもない。しかし、山が削られることについては、心の痛みや、それはみんなが持っている。私、初めて伊吹山の採掘の中止の問題を取り上げたんですけれども、滋賀県の中でこれまで、こういう問題は公の場であまり取り上げられてきませんでした。けれども、やっぱり今のこの自然破壊が非常に問題になっている時期に、滋賀県がこの一番代表する伊吹山の採掘をいつまでも認めている、こんなことは続けるべきではないということを重ねて強調して、この質問を終わります。

### 2040年まで採掘計画

**A、**（部長）事業者から、2040年までに採掘面を現計画の標高925mから75メートル掘り下げる長期計画が説明されました。採掘量の見込みにつきまして、中期計画が立てられており、年間約110万トンの採掘が見込まれています。

### 住民は心の痛みを押し止す

**Q、**伊吹山を守る自然再生協議会では、採掘についてのどのような協議が行われているのか質問します。

**A、**（琵琶湖環境部長）伊吹山の採掘につきましては鉱業法に基づき国が許可しておりますが、県は昭和47年に当時の事業者と県下で初めての自然環境保全協定を結び、また、これを承継した現在の事業者と、平成24年に、協定に基づく覚書を締結しております。

**Q、**覚書の締結に当たり、伊吹山を守る自然再生協議会ではワーキンググループを設置して、採掘計画に対する技術的な条件や影響を最

### 再生協議会での議論は

**Q、**伊吹山を守る自然再生協議会では、採掘についてのどのような協議が行われているのか質問します。

**A、**（部長）伊吹山における採掘実績につきまして、当部が把握しているところでは、昭和27年に採掘が始まり、平成3年のピーク時には年間320万トンに達しておりました。その後は減少に転じ、年間100から110万トンで推移しております。これまでの採掘量の累計は令和元年度末で約1億800万トンとなっております。

**Q、**（部長）伊吹山の採掘中止については、これは声なき声でもあります。山が削られていても、どの住民にとっても生活が困るわけでもない。しかし、山が削られることについては、心の痛みや、それはみんなが持っている。私、初めて伊吹山の採掘の中止の問題を取り上げたんですけれども、滋賀県の中でこれまで、こういう問題は公の場であまり取り上げられてきませんでした。けれども、やっぱり今のこの自然破壊が非常に問題になっている時期に、滋賀県がこの一番代表する伊吹山の採掘をいつまでも認めている、こんなことは続けるべきではないということを重ねて強調して、この質問を終わります。

**Q、**伊吹山を守る自然再生協議会ではワーキンググループを設置して、採掘計画に対する技術的な条件や影響を最

**Q、**大阪セメントの工場が休止され、もう採掘が行われていないと思っている人が今でも大半なんです。ところが、実際は100万ト



[https://www.shigaken-gikai.jp/voices/g08v\\_search.asp](https://www.shigaken-gikai.jp/voices/g08v_search.asp)